

学校法人帯広大谷学園未来メッセージ 優秀作品（区分D：高1⇒大1部）

タイトル	書を極めよう
作品形式	作文
在学学校（応募時／現在）	帯広市内高等学校1年／道外大学1年
氏名	M・T

私は書道が好きです。部活がある日もない日も必ず一日一回は筆を持っています。なぜ、ここまで書に熱中できるのかを考えると、明確な理由は思いつきませんが、タイトルにある「3年後の自分」も、この書に対する気持ちは変わらないどころかさらに強くなっていると思います。ですが、元々私は毛筆が苦手でした。字をキレイに書くことは大好きでしたが、書写の時間はただお手本どおりにきっちりと書くことが目的なので表現なんか一つもできることができなく、自分味をだしたいので全くもってつまらなく感じました。「習字・書写」と「書道」の違いを知れたのもたった一年前のことです。どうして、ここまで毛筆を扱うことに難をなしていた私が書道愛好家になれたのかと言うと、高校に入り書道部に入部したからです。「古典臨書」に出会いました。それまで「どうせ書道部だってお習字のキレイなくせのないお手本だろうな」とばかり思っていました。古代中国の個性のある古典の書風を目にしていくうちに、私の中での毛筆のイメージがガラリと変わりました。臨書は、ただ忠実にお手本を写すだけだとダメだそうです。「自分味」を出せてこそ、一つの作品になるという顧問の言葉を聞き、やる気に満ちあふれ力がみなぎりました。お習字には見られない褐筆の言葉に表せない美しさや太細で書の雰囲気ガラッと変わることに面白さを感じられるようになりました。書道の技術だけではなく、歴史や理論について、今は学びたいとまで思えるくらいこの芸術に魅力を感じています。3年後の自分という大学生になっているはずなので、書道に専門の学部・学科に入ればとても幸せです。将来の夢は教師です。まだ、「書道が好き、教えることが好き」などの漠然とした理由しか見つかっていませんが、この高校生活のうちにたくさんもっともらしい目標を見つけ、日々精一杯書に向き合おうと決めています。